

企画展示

ベルリンの壁崩壊 25 周年

展示期間:2016 年 3 月 17 日(木)–3 月 26 日(土)

平日 10-18 時 日・祝日 正午–18 時

展示場所:東北学院サテライトステーション

仙台市青葉区一番町 2-2-13 仙建ビル 1 階

☎ 022-212-6210(直通)

1949年に東ドイツが建国されてから、約200万人もが国をはなれ、1961年8月には毎日2000人もの国民が去って行った。東ドイツは壁を作って強制的に国民が留まるようにしなければ、自国の存在が脅かされていると感じて、3メートルの高さのベルリンの壁を建設した。もともとベルリンは東ドイツの中心部に孤島のように存在した。1961年8月13日に造られたこの壁によって、西ベルリンは東ドイツと東ベルリンから分離され、西ベルリン市民は自家用車で西ドイツのミュンヘンに行くためにはビザを取得し、国境検問所を通過しなければならないといった不便な生活を送ることになった。西ドイツ政府はこの陸の孤島に暮らす西ベルリン市民を財政的に支えたが、本当の意味で西ベルリンが発展することはなかった。1989年11月9日に崩壊するまで四半世紀もの間この状態は続いた。

1989年に起こった重要なできごと、壁崩壊までの道のりを当時の写真と共に、ここに紹介し説明します。

主催:仙台日独協会

仙台市青葉区大町 2-3-10 目黒ビル内 ☎ 022-262-7430

ホームページ:www.doitsugo.jp./sendai.htm

地下鉄 東西線 大町西公園前駅から徒歩1分